

もくじ



今月の表紙
【(有)アド恵広】

2 特集	進化する加古川 “まち” “道” “川”
7 クローズアップ	「地域に無くてはならない大学に」 学校法人陸学園 理事長、兵庫大学 学長 河野 真 さん
9 会員事業所紹介	(有)大浦フーズ 代表取締役 大浦 智史 さん
11 会議所のうごき	「姉妹都市提携50周年を記念して」 他
11 会員さんNOW	令和5年 春の叙勲 受章 令和5年 兵庫県功労者表彰 受賞
13 団体だより	女性会・青年部
14 所報サービス	トレンド通信 「『アップサイクル』を形にしてみせた今治のホコリ」
15 会議所からのお知らせ	「源泉所得税の納付は忘れなく」 他
15 インフォメーション	関係機関からのお知らせ
16 プロが教える ちょこっとアドバイス	～カビ対策編編～ (有)スプリング 田中 義人 さん
16 会議所カレンダー	「今月の“こんな日”」

事業所データ

◆代表者

代表取締役 まつした とみや
松下 智哉

◆所在地

加古川市加古川町木村563

◆電話

079-422-7322

◆ホームページ

http://adecho.co.jp



◆表紙写真

①店舗看板やデザイン広告

(前列左から2人目が松下社長)

②仕上がりをはじくりとチェック

③ホームページなどのデザインも承ります

④高所看板もお任せください

⑤風の会での活動が認められ表彰されました

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



看板は「お店の顔」です

「社名は『advertisement (広告)』の『アド』と反響を意味する『echo (エコー)』を合わせました。そこに仕事に恵まれるという意味で『恵』と広告の『広』の2文字をあてました」と話すのは現会長の松下哲雄さん。デザインスクールを卒業した後、1977年(昭52)に創業し、元来の車好きだったことから車のボディに絵を描く仕事を中心にしてきました。2015年に長男の智哉さんに社長を譲るまで、手描きの技術を活かして車をはじめ、店の看板などを製作しました。またその技術で自身が会長を務める「加古川風の会」であげる大凾も作成し、学校での製作指導など長年の普及・伝承活動が評価され兵庫県の「ともじび賞」を受賞しました。

「継ぐ気は無かった」智哉さんですが、元々絵を描くことが好きだったことから父と同じ道に。哲雄さんは「智哉のデザインが中学の修学旅行のしおりの表紙に選ばれたのを見た時、我が子ながらなかなかセンスがあるなと思いましたね」と早くからその技量を評価していたそうです。しかし智哉さんが30歳の若さで社長となった頃、看板業はアナログからデジタルへ遷り変わる時でした。「父の技術を活かしながら、今の時代にあわせた看板業に必要とされているのは何か?を考えた時、小さいころ父に褒められたデザイン力が今こそ必要な時だと気づきました。街に溢れる幾多の看板と景色の中でいかに人の目に留まるか、いかに心に響くか。他には無いデザイン力と提案力を自社の強みにしようと思いました」

そんな同社の門を叩いた人がいます。昨年入社した入ロバキア出身のクドウルナツ・ロマンさんです。日本のデザイン専門学校に通いながら、環境が良く住みやすい兵庫県での就職をネットで探していたところ、同社を見つけ就職希望のメールを送りました。当初メールを見て「詐欺ではないか」と疑ったそうですが、実際に話をし、ロマンさんの誠実さとかねてよりWEB関係の人材を必要していたことから即採用、現在はHP作成やデザインなど社員として仕事をこなしています。ロマンさんも「ここなら専門学校で学んだ知識と技術を活かせると思うた。何よりも会社の皆さんがとても優しい。それが一番」と微笑み、充実した日々を過ごしている様子です。

最後に智哉さんが社員を見回しながら「WEB・車・紙や看板、うちの技術を活かせる媒体は色々あります。社員それぞれのスキルを高め、時代に合った、そして更にその先をいくような質の高い商品を提案しお届けしてまいります」と力強く話しました。